

農地等の利用状況報告書

(事業年度：令和○年○○月○○日～令和○年○○月○○日)

令和○年○○月○○日

大津市農業委員会会長 様

住所 大津市○○

氏名 株式会社△△ 代表取締役 □□ □□

連絡先 〇七七-●●●-●●●●

- ☐ 農地法第3条第3項の規定により同条第1項の許可を受けて使用貸借による権利又は賃借権の設定を受けた

☒ 農地中間管理事業の推進に関する法律第18条第7項の規定による公告があった農用地利用集積等促進計画の定めるところにより賃借権又は使用貸借による権利の設定又は移転を受けた

☐ 農業経営基盤強化促進法第19条の規定による公告があった農用地利用集積計画の定めるところにより賃借権又は使用貸借による権利の設定を受けた

農地（採草放牧地）について、農地法第6条の2第1項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

- 1 ☐ 農地法第3条第3項の規定により同条第1項の許可を受けた者
☒ 農地中間管理事業の推進に関する法律第18条第5項第3号に規定する者
☐ 農業経営基盤強化促進法第18条第2項第6号に規定する者

}

の氏名等

氏名	住所
株式会社△△ 代表取締役 □□ □□	大津市○○

2 報告に係る土地の所在等

所在・地番	地 目		面積 (㎡)	作物の種類別 作付面積 (又は栽培面積)	生産数量	反 収	備 考
	登記簿	現況					
大津市	〇〇字△△ 100番	田	田	500	水稻 □□□	〇〇〇	〇〇〇

3 農地等の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼしている影響

以下のうち該当するもの（□）に印（レ）をつけ、内容を記載してください。

☒ 周辺の作物に著しい被害を与える病虫・獣害の温床となる雑草を繁茂させていない。

（ 毎月1回草刈りをしている。 ）

☒ 農薬の散布の際には、周辺の作物の種類・出荷時期などに配慮し、飛散しないように措置している。

（ 農薬の散布の前には周辺農家と話をしている。 ）

☐ その他

（ ）

4 地域の農業における他の農業者との役割分担の状況

以下のうち該当するもの（□）に印（レ）をつけ、内容を記載してください。

☒ 農業の維持発展に関する話し合い活動への参加

話し合い活動をする団体等名称：〇〇〇〇

話し合い日：令和△年△月△日

☒ 農道・水路・ため池等の共同利用施設の取決めの遵守

共同利用施設及び管理団体等：〇〇水利組合

取決め活動日・内容：令和△年△月△日 池及び水路の清掃

☒ 獣害被害対策への協力

活動日・内容：令和△年△月△日 防護柵の点検及び草刈り

☐ その他

（ ）

5 業務執行役員又は重要な使用人の状況

氏 名	常時従事者の役職名	耕作又は養畜の事業の 年間従事日数
大津 太郎	代表取締役	250 日
大津 次郎	理事	200 日
大津 三郎	理事	150 日

6 その他参考となるべき事項

（記載要領）

- 1 該当する根拠法令（□）に印（レ）をつけてください。
- 2 記の1の「住所」は主たる事務所の所在地を、「氏名」は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載し、定款又は寄附行為の写しを添付してください。
- 3 記の2の備考欄には、登記簿上の所有名義人と現在の所有者が異なるときに登記簿上の所有者を記載してください。
- 4 記の3には、例えば、病虫害の温床となっている雑草の刈取りをせず、周辺の作物に著しい被害を与えていないか等を記載してください。
- 5 記の4には、例えば、農業の維持発展に関する話し合い活動への参加、道路、水路、ため池等の共同利用施設の利用の取決めの遵守、獣害被害対策への協力等の取り組み状況（今後取り組む場合はその見込み）について記載してください。
- 6 記の5の「耕作又は養畜の事業の年間従事日数」欄には、当該事業年度において法人の行う耕作又は養畜の事業に常時従事した業務執行役員（耕作又は養畜の事業に常時従事した業務執行役員がいない場合には、重要な使用人）の耕作又は養畜の事業への年間従事日数を記載してください。

なお、「重要な使用人」とは、その法人の使用人であって、当該法人の行う耕作又は養畜の事業に関する権限及び責任を有する者をいいます。